

令和 7 年度 第 1 回学校運営協議会

住 所 盛岡市羽場18-11-1
学 校 岩手県立盛岡工業高等学校
校 長 菅 原 基
電 話 019-638-3141

1 会議の名称

令和 7 年度第 1 回学校運営協議会

2 会議の日時

令和 7 年 6 月 3 日（火）11：00～12：00

3 会議の場所

盛岡工業高等学校 盛工百年館 第 1 研修室

4 出席者氏名

森 達 也	岩手県立産業技術短期大学校 校長
和 合 健	岩手県工業技術センター 部長
浅 沼 清 一	エスペロの会 会長
野 田 純 孝	株式会社ミクニ盛岡事業所 所長
佐々木 康 隆	盛岡市立飯岡中学校 校長
中 里 哲 夫	同窓会 体育後援会副会長
中 村 知 泉	P T A 元 P T A 3 学年委員長
菅 原 基	校長
吉 田 亨	副校長（全日制）
千 葉 隆 一	事務長
田 鎖 充	教務主任（全日制）
稲 垣 真 紀	総務主任（全日制）
高 橋 美智子	総務主任（定時制）

【欠席者】

菊 池 平	副校長（全日制）
湊 慎 一	副校長（定時制）

5 会議の次第（進行：吉田副校長）

辞令交付

- (1) 開会
- (2) 校長挨拶
- (3) 委員紹介
- (4) 学校運営協議会の設置について
- (5) 会長、副会長の選出について
- (6) 協議（進行：森 委員）
 - ア 令和 7 年度学校経営計画及び教育活動計画
 - イ 本校の魅力化、特色化に係る意見交換
- (7) その他
- (8) 閉会

6 会議の概要（協議内容）

（１）辞令交付

机上への配付

（２）校長挨拶

本日はご多忙中にも関わらずご出席いただきましてありがとうございます。工業高校の岩手のセンタースクールである盛工に赴任できましたことを大変うれしく思っております。今年は、4月9日の入学式で、全日制240名、定時制6名の新入生を迎え、全日制は全校生徒693名で前年比プラス2名、定時制は全校生徒23名、全定合わせて716名、前年と比べるとプラス3名で新年度スタートしております。生徒数は、現在の工業高校は志願者獲得に苦勞しているところが多いですが、本校は微増ではありますが増加していることを嬉しく思います。これは、これまでの皆様のご協力のもとに進めてまいりました学校の魅力化、情報発信、様々な取り組みの成果だと思っております。本日は皆様から忌憚のないご意見をいただき学校運営に活かしていきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

（３）委員紹介

各委員から自己紹介

（４）学校運営協議会の設置について

資料2～3ページをもとに吉田副校長が説明

（５）会長、副会長の選出について

規約により互選。事務局案として会長には森 達也委員、副会長を和合 健委員に依頼することを吉田副校長から提案。他の委員から異議はなく、森委員、和合委員からの承諾をいただく。

（６）協議（進行：森会長）

ア 令和7年度学校経営計画及び教育活動計画について

○学校経営計画の説明要旨

魅力化協働パートナー」として学校運営協議会、同窓会、北上川流域ものづくりネットワークの方々からご意見をいただきながら魅力化推進を図っている。

「4 目指す学校像」は重点目標・達成指標を掲げ取り組んでいる。5つの達成指標のうち4つ達成することができた。欠席率は改善できるよう、今年度様々な対策をとっている。

○盛工の入学者数

昨年度の第3回の運営協議会の際に、「生徒たちの満足度がアンケートで高ければ入学生が増える」というデータがあるという話をした。少子化という要因がある中で240名を確保できたことは、魅力化を推進し生徒たちの満足状況が中学生に伝わったことが要因である。

○卒業生の進路状況

卒業生230名のうち、就職合計146名、63.4%、進学合計78名、33.9%。例年、就職70%、進学30%を上下する数値で推移している。

○令和6年度部活動の活躍

今年度の高総体では、アーチェリー、バスケットが優勝インターハイへの出場権を得た。ラグビーが準優勝、ウエイトリフティング、レスリングは3位、登山は4位、ソフトテニスベスト8、バレーと卓球、柔道、硬式野球はベスト16、陸上競技でもハンマー投げで2位、3位と各部とも活発に活動している。

○教務部より

今年度からの新しい取り組みについて3点紹介。

①昨年度まで7月に実施していた1・2年生の三者面談を5月連休明けに変更。この時期が自死や不登校の増加傾向があるため、面談を実施し午前授業にすることで生徒の負担感を減らし、1年生については入学後の早い時期に担任が保護者と顔を合わせる機会をつくる。3年生については進路について保護者と相談する大事な面談であり7月のまま実施する。

②工業科目の考査を前期中間と後期中間で廃止。定期考査をなくしていくのは昨年度からの継続的な取り組み。評価方法が3観点の観点別評価となり、ペーパーテストは評価全体の3

分の1の割合。テスト期間だけ勉強するという詰め込み学習からの脱却を図る。

③ICT活用の推進により今年度からR社の学習アプリケーションアプリを全学年で導入。4月に実施した1回目到達度テストの結果と連動させ、生徒に必要な内容の学び直しができるようになっている。数学科で積極的に活用しており、今後は進路等でも活用して行く予定。

○総務部より

5月10日(土)にPTA総会を開催。授業参観と同日開催し、全体で254名、37%の参加であった。昨年度と比較すると全体で7%増、特に一年生の保護者は48%という高い結果であった。

総務部での話題はPTA加入について。PTAは任意加入であり、加入しない家庭が出てき。加入しない原因は、PTA活動と仕事の両立の難しさ。今後、PTA活動の魅力発信や保護者の方の仕事の負担にならないような活動にしていくことを考えなければならない時期に来ている。

○定時制

定時制入学者数について資料記載は6名であるが、この数字は一般入試受験にて合格した生徒数であり、全日制からの転籍生徒1名を含め現在1年生は7名。昨年度の進路状況は卒業生3名のうち1名は高校卒業目標に頑張った生徒であり、進路決定までには至らず。部活動については、ここ数年、部活動に意欲的な生徒が増え、今年度の高総体ではバドミントン部、卓球部が団体優勝を果たし全国大会の出場権を得た。

定時制の生徒は、小中学校で不登校経験のある生徒が半数以上、様々な特性を持った生徒が在籍しているので、保護者と連携をとりながら生徒一人ひとりに寄り添った指導を心がけている。

【質疑応答】

【委員】

重点目標「年間欠席率・遅刻率3%」について欠席・遅刻のどちらが多かったのか？

【学校】

欠席が多かった。4月情報交換会を実施しケアが必要な生徒の情報共有を図っているが、やはり欠席が多かった。今年度からR社のアプリケーションを活用、保護者から欠席連絡をしてもらうこととしている。細かな状況(体温等)を書き込んでいただけるので、情報量が多い中で対応できるというメリットがあり、担任はそれを使いながら対応している。

イ 本校の魅力化、特色化に係る意見交換

【委員】

日本全体のPTA活動が問題になっているが、役員等を引き受けたくないという理由なのか？

【学校】

現在未加入者2名である。PTA活動に参加できないくらい仕事が多忙という理由ときている。PTA会計からの支出は、一斉メールの他に生徒の通学途中の事故補償の保険もあり、加入しない申し出があった場合には、万が一の時には不利益が生じるかもしれないということは必ず保護者に説明するようにしている。できれば入っていただきたいというのが正直なところ。未加入が今後広がっていく可能性は大きい。PTA会計からの支出はPTA活動に関するものだけとし、それ以外のものは生徒全員が支払う会計に移行していかないといけないのかもしれない。

【委員】

中学校では全員加入であるが、活動に関してはボランティア制としている。先日、学校近くの側溝清掃を実施したが23名の方々に集まっていた。今のところは反対意見もなく賛同していただいている。今後、未加入選択ができるようになれば、会計等も含めて本校も苦しくなるのが予想される。

【学校】

小学校も任意加入のところが出てきている。

【委員】

親御さんにもいろんな考え方があると思うが子供たちの取り扱いには平等にしなければならない。強制できるものでもないから、入ることのメリットを伝えていく必要がある。

【学校】

部活動については工業高校なので力を入れていきたいし、中学生へのアピールポイントの一つにしたいと考えている。テスト期間の部活動は、少し制限はあるがやっても良いということにしており、最終的には考査期間でもやれるようにしていきたい。他には、校則検討委員会というのが立ち上がっており、生徒たちで校則や髪型等様々検討している。ゆくゆくは今までやってきた昔ながらの整容指導はなくそうと動いている。

【委員】

同窓会としては、昔から「盛工といえば部活が強い」というイメージがある。近年、全国的に私立の大規模校の活躍が目立っているが、ぜひ盛工には継続的に部活動の活性化をお願いし活躍し続けてほしい。部活動での活躍により、社会に出てから様々な場面において意欲や自信、精神的な強さにつながる。

【委員】

盛工で部活動をやっている生徒たちは元気に挨拶してくれ、元気なイメージがある。盛工生の活動や活躍を見た小中学生が「盛工に入れば自分もそうなれる」と良い印象を持ってもらえれば志願者増につながるのではないかな。

【委員】

盛工の卒業生がたくさん就職し活躍してもらっている。就職面接で感じるのは、部活動をしてきた生徒はきちんと挨拶ができること。企業が求めているのは人間力のある生徒。成績の良し悪しは気にしないし、知識は入社してから指導する体制がある。盛工は人間力育成に力を入れているとアピールするのがよいのではないかなと思う。

【委員】

本日授業参観で工業科の実習の様子を拝見したが、きちんと指導している様子が伺えた。資格取得により就職先も広がるであろう。

【学校】

資格取得に力を入れているが、指導の時間帯が早朝や放課後のため教員の負担が非常に大きく、働き方改革と矛盾してしまうのが悩みどころ。また、部活動等の推薦入試がなくなり、さらに特色入試の時期が遅いため、生徒数確保に苦慮している。

(7) その他

【委員】

盛工が南高校に移転する話は進んでいるのか？移転が当分先なのであれば、学校近くのガソリンスタンド前の交差点に歩道を作ることはいできないか？バスから降車した生徒と自動車との接触事故が危惧される。

【学校】

検討事項とさせていただく。

(8) 閉会

本日、委員の皆様からいただいた御意見については今後も検討を重ね、本校の教育活動を更に充実発展させていきたい。今後とも御支援と御協力をお願いしたい。

7 議決事項

協議会会長	森	達	也（岩手県立産業技術短期大学校 校長）
協議会副会長	和	合	健（岩手県工業技術センター 部長）